

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	パーソナリティの心理 (Psychology of Personality)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	心の生涯発達		
担当者名 (Instructor)	菅沼 真樹(SUGANUMA MAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

人の心の個性の成り立ちや、加齢に伴って経験される心理的变化について、生涯発達心理学の観点から理解を深める。

Students will deepen their understanding of the formation of individuality of human mind and the psychological changes experienced with aging from the viewpoint of life-span developmental psychology.

授業の内容(Course Contents)

パーソナリティ発達や対人関係の発達など、社会情緒的な側面の発達を中心に概観していく。受講者各人が「これまで」を振り返り、「これから」を展望するためのヒントともなるように、具体的場面と関連づけながら講義を進めていく。生活の中でみられるエピソードの紹介なども、積極的に取り入れていく。授業全体を通して、受講者各人が「人の発達とは何か」を考えるきっかけを提供したい。

We will focus on the development of social emotional aspects such as personality development and the development of interpersonal relationships. Each student will reflect on their "past" and we will proceed with the lectures while relating them to specific scenes so that the course can be a hint for the "future." We will also actively introduce episodes that appear in our lives. We want to provide opportunities for each student to think about "what is human development" throughout the course.

授業計画(Course Schedule)

1. 心理学とは
2. 生涯発達心理学とは(1)(乳児期、幼児期、児童期)
3. 生涯発達心理学とは(2)(青年期、成人期、老年期)
4. 乳幼児期の心理(1)
5. 乳幼児期の心理(2)
6. 親子関係の発達(1)
7. 親子関係の発達(2)
8. 親子関係の発達(3)
9. 児童期の発達
10. 青年期の心理(1)
11. 青年期の心理(2)
12. 成人期の発達(1)
13. 成人期の心理(2)
14. 老年期の心理

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

開講に当たっての既有知識は、特に求めない。心理学関連科目の初学者にも理解できるように、授業を進めていく。開講後の授業時間外の学習に関しては、別途指示する。

授業外でも、自身とは異なる発達段階にある者(乳幼児、児童、高齢者など)に対して積極的に関心を寄せ、理解を深めてほしい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(80%) / コメントペーパーの内容(20%)

テキスト(Textbooks)

特に指定しない。

参考文献(Readings)

1. 塚本伸一・堀耕治(編)、2005年、『現代心理学への招待』、樹村房 (ISBN:4-88367-116-X)
2. 無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編)、2009年、『よくわかる発達心理学第2版』、ミネルヴァ書房 (ISBN:978-4-623-05379-7)

その他、授業内で適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

授業は講義形式を中心とし、映像資料も取り入れて理解を深めていく予定である。お知らせや資料配付は、原則的に Blackboard を使用する。なお、履修人数等によって実施可能な場合には、グループワークを1回予定している。

注意事項(Notice)